

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

岡崎駅東地区

平成27年8月

愛知県岡崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	「都市基盤整備」に対する満足度	%	41	66	59	確定 見込み	△	あり なし	●	61	H27年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市基盤整備については、区画整理事業による整備を中心として、公園や下水道の整備などを実施したことにより、地域住民の一定の満足は得られたものの、次期計画にて整備予定の公園がまだ完成していないことが地域住民の「未完成である」という感覚に繋がりが、目標を達成する満足度には至っていない状況である。
指標2	「交流・歩行者支援」に対する満足度	%	36	61	63	確定 見込み	○	あり なし		65	H27年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交流の観点から公園を整備し、歩行者支援の観点から、エスカレーター等の整備により動線を改善したほか、ベンチ、トイレ、照明施設、シェルター等を充実させたことにより、交流・歩行者支援については利便性や快適性が向上したと判断される。これが地域住民の満足度の上昇につながり、目標値を上回ったものと考えられる。
指標3	「市街地形成」に対する満足度	%	25	50	46	確定 見込み	△	あり なし	●	49	H27年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地形成については、駅前広場や歩行者重視道路など、駅周辺の施設整備を進めたことによる商業店舗の増加が満足度の向上につながったが、目標を達成する満足度にはわずかに至っていない状況である。
指標3	「地域コミュニティ」に対する満足度	%	35	60	53	確定 見込み	△	あり なし	●	51	H27年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域コミュニティについては、公園等を利用した市街地の緑化活動のほか、まちづくり講演会等による情報の共有などにより一定の満足は得られたものの、活動場所の限られた市街地であることから大規模なコミュニティの活動場所に乏しく、今後整備される公園の完成が待たれており、目標を達成する満足度には至っていない状況である。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1						確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	良好な居住環境の形成、都心機能の充実を図る都市 基盤整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業を進めた。 ・浸水対策として下水道事業及び下流部の河川事業(地区外)を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤が整備され、居住環境が向上したことで、民間のマンション建設なども実施され、一層の都市化が進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の増加が見込めることから、人口に見合った都市機能が求められることは明らかで、商業店舗の増加が望まれる。ただし今後整備される交流拠点には集客能力と商業施設不足の解消が期待されており、今後の課題の解決策となりうる。
	持続的ににぎわいを支える交流機能、歩行支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・交流空間として使用される都市公園を整備した。 ・歩行者重視道路と位置付けられた道路について、広い歩道や休憩・交流用のポケットパークを整備し、一方通行や視覚効果による車両抑制を施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された公園は、地域住民の交流の場として活用されつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園予定地の整備および駅周辺の用地を活用して、さらなる交流機能の強化を図っていきたい。
	長く愛着をもって住める安全で安心な居住環境、快適で 利便性の高い都心居住地の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・エスカレーターやトイレの整備などで駅の利便性を向上した。 ・公園およびポケットパークでのイベントや「まちづくり講演会」などの住民参加型のまちづくり活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通利便性に優れた安全・安心なまちとして、住民の満足度が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる居住環境の向上を目指し、公園の整備および駅前広場の施設整備を促進していきたい。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	駅を中心とした都心機能の集積を推進、都市機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(ベネストリアンデッキ)の整備を始めとした交流拠点を中心とする、都心機能の集積の計画を進めた。 ・今後整備予定の公園や照明施設など、住民の要望が強いものを確認し、整備計画を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズを反映した交流拠点の実施方針が定まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点整備事業を着実に進め、都市の生活機能維持を図るとともに、賑わいを創出する必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項